

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公開番号】特開2007-254744(P2007-254744A)

【公開日】平成19年10月4日 (2007.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2007-038

【出願番号】特願2007-76284(P2007-76284)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/08 (2006.01)

A 6 1 K 8/87 (2006.01)

A 6 1 K 8/88 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 67/08 A

A 6 1 K 8/87

A 6 1 K 8/88

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/19

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年8月27日 (2012.8.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6】

ポリマーマトリックスが、少なくとも 2 つの化合物、すなわち一方がイソシアネートタイプであり他方がアルコール及び / 又はアミンタイプである化合物を反応させることにより得られたものであり、これら 2 つの化合物の少なくとも 1 つは、少なくとも 3 つの同じか又は異なる官能基を有し、該官能基は、イソシアネートのタイプについてはイソシアネート基から、そしてアルコール及び / 又はアミンのタイプについてはヒドロキシ基及びアミン基から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の複合染料。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 10】

顔料が、酸化チタン、酸化クロム、D & C レッド No. 7、D & C レッド No. 22 レーキ、D & C イエロー No. 6 レーキ及び F D & C イエロー No. 6 レーキ、及び F D & C ブルー No. 1 レーキから選択されるところの、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の複合染料。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0107

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0107】

本発明において使用され得る顔料の例として、カーボンブラック、酸化チタン、酸化クロム、D & C又はFD & Cのタイプの顔料、及びそれらのレーキ、特にD & CブルーNo. 4、D & CブラウンNo. 1、FD & CグリーンNo. 3、D & CグリーンNo. 5、D & CグリーンNo. 6、FD & CグリーンNo. 8、D & CオレンジNo. 4、D & CオレンジNo. 5、D & CオレンジNo. 10、D & CオレンジNo. 11、FD & CレッドNo. 4、D & CレッドNo. 6、D & CレッドNo. 7、D & CレッドNo. 17、D & CレッドNo. 21、D & CレッドNo. 22、D & CレッドNo. 27、D & CレッドNo. 28、D & CレッドNo. 30、D & CレッドNo. 31、D & CレッドNo. 33、D & CレッドNo. 34、D & CレッドNo. 36、FD & CレッドNo. 40、FD & CレッドNo. 40レーキ、D & CバイレットNo. 2、Ext. D & CバイレットNo. 2、FD & CブルーNo. 1、D & CイエローNo. 6、FD & CイエローNo. 6、D & CイエローNo. 7、Ext. D & CイエローNo. 7、D & CイエローNo. 8、D & CイエローNo. 10、又はD & CイエローNo. 11の名前で当業者に公知であるものが挙げられ得、該顔料が化粧料において通常使用される親水性相及び脂溶性相に自然には不溶でないとき、それ是对応するレーキの形で使用されると理解されたい。